

2026 年度

加納西スポーツ少年団サッカー部研修会 「岐阜県サッカー協会 優秀指導者招聘事業」

日 程：2026 年 7 月 19 日(日) 18:15-19:45
場 所：ハートフルスクエア G 大研修室
参 加 者：13 人(加納西関係者/全体参加者 46 人)
講 師：大畑 開 氏 JFA ナショナルコーチングスタッフ/U15 日本代表コーチ
内 容：世界基準から見た日本の育成への示唆 ～U17W 杯報告から世界と日本の差を認識する～

【参加者の感想】

No.	学んだこと、子どもに関わる大人(保護者・指導者)の資質向上のために必要なこと
1	U17 日本代表の成果と課題はよくわかったが、指導者に対する指導をテーマとした講演であるものと期待しており、さらに学びを深めたいと思った。
2	今日の様な指導に対する講習会がどんどん参加して勉強したい！
3	大変勉強になりました。まずキックを振ることを子供に伝えてゆくことと、動画を見せてやることを取り組みます。
4	本日はありがとうございました。印象に残ったのは「選手は数字が好き」「足を振る(シュートを打つ)」でした。指導者側として初めてお話を伺い、自分自身の昔の姿を思い返していました。みんなでサッカーをするのが楽しかったこと。シュートを打たずパスしてたこと、外すのが怖かったからでしょうね。小学生のうちは個の技術を上げるためにも楽しく本気でサッカーができる環境作りが重要だと感じました。
5	基本的な考えは日本代表でも同じということと思いました。育成年代にも同様に対応していきたいです。
6	ボールに寄せる、カバーするという基本的な動きは日本代表クラスでも重要なファクターと分かり、継続して子供達に指導していこうと思いました。また、海外の選手との違いでシュートを振り切って打つことができないことを挙げられており、自チームでも積極的にシュートを打つ練習を取り入れたいと感じました。最後に指導を細かくすることで選手達の情熱を抑えてしまっているかもしれない、という葛藤を感じることもあるというのが印象的で自分も省みるところがあるのではないかと見つめ直す機会になりました。
7	私は息子がサッカーを始めたことをきっかけに指導に関わり始めたため、最初は知識の浅い自分がこの場においてよいのかと、正直戸惑っていました。しかし、D ライセンス講習会ではあまり触れなかった守備・攻撃の戦術や、ゴール前の一瞬を見逃さないという考え方など、多くの学びを得ることができました。育成世代への指導について学ぶ中で、普段指導している小学校低学年の練習でも意識できることが多くあると感じました。今回学んだことを子どもたちに少しでも還元するとともに、経験豊富な指導者の皆さんの姿勢にも刺激を受け、自分自身もさらに学び続けたいという意欲が湧きました。
8	改めてサッカーの難しさを知り、子供達への言葉のかけ方や関わり方を見直すきっかけとなりました。サッカーベテランではなくてもサッカーの基本や原則を学べる(今回のような実際の動画を用いて)機会があれば、4 種の子指導者はもちろん、保護者が積極的にサッカーに関わるきっかけになるのではないかと感じました
9	改めてサッカーの奥深さを学べた貴重な時間でした。まだ小学生には難しいところもありましたが映像を切りとって宿題を出したり、ラインを揃えてチャレンジ&カバーを徹底するなど少し崩して分かりやすくできれば小学生でも実戦できそうなこともあり今後の練習や指導に活かしてみたいと思いました。
10	保護者として子どもへの関わり方を改めて考える良い機会となりました。貴重な研修を開催していただき、ありがとうございました。
11	4 種の指導にも役立つ気づきがある講習会でした。自チームの練習は守備へのフォーカスが多いので、攻撃時の振る習慣を意識付けできるように声かけをしていきたいと思います。本日はありがとうございました。
12	非常にハイレベルで有意義な講義でした。小学生レベルでもついついパスを出そうとしてしまいますが、小学生のレベルでも常にゴールを求めていくエネルギーが高まるような指導や声掛けを心掛けていきたいと思いました。

【担当者より】

今年度の優秀指導者招聘事業は JFA ナショナルコーチングスタッフで U15 日本代表コーチの大畑開さんに岐阜県へお越しいただきました。当初は 7/20(月)のみ研修会の予定でしたが、前日の 7/19(日)の講義も快く引き受けてくださいました。

当事業は国民スポーツ大会の競技力向上を目的として、全国の優秀な指導者を招聘し選手・指導者へ新たな学びを提供することを重点としていますが、指導対象が 4 種の指導者も多く参加し、指導種別問わず U17W 杯の報告から世界基準を認識できたのではないかと思います。日本の成果として、守備面ではコンパクトな陣形や守備範囲の広さ・ロングボール対応やヘディング、攻撃面では選手同士の関係性からの崩し・ラインブレイク等世界を相手でも引けを取らないとのことでした。課題として、ゴールをこじ開ける力やシュートを振り切るといった“この瞬間!!”を逃さないという部分が、上位進出した国との差であるとの報告がありました。



2 日目は FC 岐阜 U18 の選手を対象に指導実践を行っていただきました。ゴール前の攻防をテーマに、ラインを下げず寄せきる守備・攻撃ではシュートチャンスを逃さないとの指導が印象的でした。指導の中では、「明確なプレーの基準の提示」し、提示したことに対し選手の「プレーをジャッジする」ことをシンプルかつ的確な言葉で選手たちに指導され、短い時間の中でプレーの改善が繰り返されました。

次回は 12 月 12 日(土)を予定しています。「学び続ける大人」が子ども達を成長させると思います。次回も多くの指導者・保護者の皆さんに参加いただきたいと思います。

7/20(月)AM は大畑さんが加納西小学校に来校し、2 時間ほど滞在していただき加納西スポーツ少年団サッカー部の様子を見ていただきました。子ども達へ「自分で考えることを大切にしよう」との言葉をいただきました。

ゴール・テント・ライン準備、サッカーに関わる大人(指導者)の数、子ども達の雰囲気の良いについて褒めていただきました。指導者の言葉がけについて、直接的な働きかけと間接的な働きかけを区別すること、指導者の「明確なプレーの基準の提示」と「プレーのジャッジ」についてもっと良くなるとの提言をいただきました。

2025 度の菅野淳さん(JFA フィジカルフィットネスプロジェクター/U20 日本代表フィジカルコーチ)に続き、2 年連続で日本を代表する指導者が加納西スポーツ少年団サッカー部に来てくださいました。子どもも大人も「学び続ける」ことを大切にこれからも子どもたちのサッカー環境をより良くするように一緒に頑張りましょう。



牧野 健

これまでの加納西スポーツ少年団サッカー部研修会

【2023 年度】

2024/02/26 実技「コーディネーショントレーニング」～体をうまく使えるように様々な動きにチャレンジしよう～
講師：上田 真也 氏（岐阜大学教育学部准教授）

【2024 年度】

2024/12/07 映像視聴「社会の変化とこれからの教育」～主体性と当事者意識を考える～

講師：工藤 勇一 氏（東京都千代田区立麹町中学校校長/学校法人堀井学園横浜創英中学・高等学校校長）

2025/02/24 実技「コーディネーショントレーニング」

～ゴールドエンジェに活用できるコーディネーショントレーニングと考え方～

2025/02/24 講義「発育発達」～子どもの発育発達を理解するとともに、家庭で注意すべき観点～

講師：上田 真也 氏（岐阜大学教育学部准教授）

【2025 年度】

2025/07/05 講義・実技「救急救命講習」～もし目の前で子どもが倒れたらあなたはどのようにするか～

講師：岐阜南消防署

【2026 年度】（岐阜県サッカー協会優秀指導者招聘事業兼リフレッシュ研修会に参加）

2026/07/19 講義「世界基準から見た日本の育成への示唆」～U17W 杯報告から世界と日本の差を認識する～

講師：大畑 開 氏(JFA ナショナルコーチングスタッフ/U15 日本代表コーチ)